

研究課題名	腹部 MRI の拡散強調画像における信号強度の重み付けおよび k 空間加算を用いた新たな画像再構成法の臨床的有用性の検討
研究期間	2025 年 8 月 5 日 ～ 2028 年 12 月 31 日
研究の対象	臨床画像研究では、2025 年 3 月から 2027 年 12 月の間で、広島大学病院にて肝胆膵腫瘍の精査加療目的に腹部 MRI 検査が行われた患者さんを対象とします。ボランティア研究では、健常ボランティアに対して腹部 MRI 検査を行います。
研究の目的・方法	<p>研究目的：腹部 MRI において肝胆膵腫瘍の診断に重要な役割を果たす拡散強調像を、画像のみだれやノイズを低減することによってより良い画質にするための新しい再構成法を開発し、その有用性を明らかにすることです。</p> <p>研究の方法：臨床画像研究では、すでに行われている患者さんの病歴や血液検査、画像検査などのデータをカルテから収集し、調査・解析することが主な方法です。ボランティア研究では、健常ボランティアに対して 30 分程度の腹部 MRI 検査を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、生活歴、肝胆膵腫瘍の原因疾患や治療歴、各種画像検査（EOB 造影 MRI、MRCP、造影 CT、PET-CT、ERCP、血管造影、RI、超音波）の撮影日時、撮像方法及びその画像、画像所見（読影レポート）、血液検査結果、病理結果、ボランティア研究で得る非造影腹部 MRI 画像（30 分程度の撮像）等</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学 准教授 中村優子</p>
利用または提供を開始する予定日	2025 年 8 月 5 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> - 得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。この番号と元の情報の対応表は、限られた担当者が安全に保管します。 - データは外部と独立したコンピュータで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピュータをセキュリティの厳重な部屋に保管します。外部記憶媒体に保存する場合にはセキュリティ機能のあるものを用い、施錠可能なキャビネットで保管します。 - データの解析には外部に接続していないコンピュータを用い、すでに個人情報が分からないように加工されたデータだけを使います。 - この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。また、この研究の結果を学会や論文で発表

	<p>する際にも、個人が特定されることはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 収集した患者さんのデータは、研究終了 10 年後すべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。 - MRI 画像を提供するキャノンメディカルシステムズにおいても、データは上記と同様の方法で保管・廃棄を行います。
外部への試料・情報の提供	ボランティア研究で得られた MRI 画像を解析するため、キャノンメディカルシステムズへ対象者を識別できないように個人情報加工した MRI 画像を提供します。
研究組織	<ul style="list-style-type: none"> - 本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学 准教授 中村優子 研究機関の長 田中純子 - 共同研究機関 研究責任者 キャノンメディカルシステムズ 高柳亮平
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 放射線診断科 担当者：前田章吾、中村優子 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5257</p>